

江刺区党
新春のつどい

団結がんばろう！で意気高い集会に



国民の苦難軽減のため、政治を変えよう！と挨拶する千葉敦市議

開会にあたり、千葉敦市議が主催者を代表して挨拶。「自民党の裏金づくりの問題などで支持率が急落しており、今年は政治を変える絶好のチャンス。昨年の県議選での惜敗を払拭し、共産党の躍進で国民を苦しめている自民党政治を変えよう！」などと訴えました。

続いて、千田美津子日本共産党奥州市委員長が来賓を代表して挨拶しました。

1月21日、日本共産党江刺区委員会が久々に「新春のつどい」を開催。党員、読者、後援会のみなさんなど約30名が参加しました。



民報

おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町三丁目
59番地
Tel 24-2021
Fax 24-2049

団結がんばろう！



会場では能登半島地震被災者救援募金への協力を呼びかけ、1万8393円の募金が寄せられました。ご協力ありがとうございました。

引き続き、救援募金活動に取り組んでいきますので、みなさんのご支援を宜しくお願い致します。

懇親の部では、女性後援会や業者後援会、地域後援会、そして来賓として出席した瀬川貞清市議と佐藤美雪市議からも新年の抱負や決意が語られ、終始和やかに交流されました。

最後に団結がんばろう！で奮闘の決意が示されました。

奥州市議会 全員協議会

奥州市高齢者福祉計画及び 第9期介護保険事業計画について



1月16日、議員全員協議会が開催され、奥州市高齢者福祉計画及び第9期介護保険事業計画（以下「計画」と記す）の概要について説明がありました。

この問題については、日本共産党議員団が12月議会で、県内最多の在宅待機者があるなか、「年金で入れる特別養護老人ホームの増設が必要だ」と求めたことに対して、倉成淳市長は「230床程度の増床を検討している」ことを明らかにしていました。以下、この問題で議員全員協議会での質疑の様子を改めて紹介いたします。

年金で入れる特別養護老人ホームの整備について

今野裕文議員は、①介護事業者にとつて最大の悩みとなっている介護職員の確保策について、②第8期計画で、70床の整備計画が実施されなかったことへの対応について、③まごころ病院が行っている「訪問

診療」の検討状況について質しました。

担当課長は、①について、様々な方策に取り組んだが、「難しい状況」だったとし、今後、関係者の意見を聞きながら検討していく。②について、整備されなかった70床は、計画していた法人が、計画を見直して75床の整備計画が出されていると回答しました。

また、③について、「訪問診療」は「医療」になるため具体的に記載はされていないとし、検討状況について明らかにしました。

保険料の引き下げができるのではないかと

千葉敦議員は、介護保険料との関係で、介護給付費準備基金（令和5年度末見込み残高11億円）を3年間で5億円取り崩し、現行の金額で据え置きたいとすることについて、「単年度収支の原則」の観点から）より多く取り崩せば引き下げができるのではないかと質しました。

担当課長は、6億円を取り崩し5300円に引き下げる試算でしたが、第10期計画以降

の保険料の上昇を見越して、現行保険料と同額としたことを明らかにしました。

整備計画の策定手法を 変更した

他の議員との質疑の中で、担当部長は、従来の整備計画は直近の4月1日現在の「早期に入所が必要な者」とされた在宅待機者数（以下、「在宅待機者」と記す）をもとに策定されていたもの。第9期は、計画末の年度に見込まれる在宅待機者を想定して計画を策定する手法に改めたと説明し、在宅待機者が「ゼロ」になることを願っていることを強調しました。

※高齢者福祉計画及び 第9期介護保険計画 とは…

介護分野も高齢者福祉の重要な一部を担い、密接な関係にあることから一体的に策定し、福祉・医療・健康分野の連携、調和を図る。地域共生社会の実現による高齢者福祉の更なる充実に努めるもの。

計画期間は令和6年度から8年度までの3年。

